PART3　る・れの識別

る・れの識別

【識別対象】

1 「　　」「　　」「　　」「　　」の助動詞「る」
2 「　　」「　　」の助動詞「り」
3 活用語の一部

接続	基本形	未然形	連用形	終止形	連体形	已然形	命令形	活用の型
	る	**れ**	**れ**	**る**	るる	るれ	れよ	下二型
	り	ら	り	り	**る**	**れ**	**れ**	ラ変型

〈見分け方〉＝「　　」の「　　」

1 「　　」＋る・れ→助動詞「る」 ⇩
2 「　　」＋る・れ→助動詞「り」　※上が「　　」と「　　」の時、注意！
3 「　　」＋る・れ→活用語の一部

問五　次の傍線部ａ・ｂの助動詞について、その終止形をそれぞれ答えなさい。

弟殿には人柄・世おぼえの劣り給へ(a)ればにや、…
「そこは申さ(b)れぬか」とのたまはせければ…

ａ＝　　　　ｂ＝

問六　「絵に描(か)ける御姿のおはするは、…」の助動詞の文法上の意味として最も適当なものを、次の中から選べ。

1　受身　　2　可能　　3　尊敬　　4　打消
5　存続　　6　意志　　7　婉曲　　8　命令

問七　「いよいよわするる事なくて、…」の傍線部と同じ働きのものを、次の中から一つ選べ。

①　鬼のしこ草といへるは、…
②　親うせにけるのち、…
③　生きたる親などに向ひていはむやうに、…
④　心におぼゆる事は…
⑤　「しこの草とは書けるなり」

問八　「木の枯れて朽ち残れるが立てる下に、…」の傍線「る」の文法的意味・用法と同じものを、次の中から一つ選べ。

1　うらうらに照れる春日にひばりあがり心悲しもひとりし思へば
2　うつくしきもの、瓜にかきたるちごの顔
3　いかめしき御堂ども建てて、多くの人なむ造り営み侍るめる
4　家の造りやうは夏をむねとすべし、冬はいかなる所にも住まる
5　明けぬれば暮るるものとは知りながらなほうらめしきあさぼらけかな

〈Memo〉

第７講　PART3　確認問題

①「一事（ひとこと）のすぐるるだにあるに、かくいづれの道もぬけ出で給ひけむは、…」の傍線部の文法的説明として最も適当なものを、次の中から選べ。

ア　尊敬の助動詞
イ　完了の助動詞
ウ　動詞の一部
エ　形容詞の一部

②「いかがとおぼしめすほどにぞ、いとさりげなく、事にもあらずげにて、参らせ給へる。」の傍線部の文法的意味と活用形の組み合わせとして最も適当なものを、次の中から選べ。

ア　完了・連体形
イ　可能・連体形
ウ　自発・終止形
エ　受身・終止形

③「伝へ承（うけたまは）るこそ、心もことばも及ばれね。」の傍線部の文法的意味として最も適当なものを、次の中から選べ。

ア　存続　　イ　尊敬　　ウ　受身　　エ　可能

④「まばゆきまでもてかしづける女（むすめ）などの、…」の「る」と文法的に同じものを、次の中から選べ。

ア「大伴の大納言殿の人や、船に乗りて、龍殺してそが首の玉取れるとや聞く」
イ「かの大納言、いづれの船にか乗らるべき」
ウ　南面の御格子上げさせて、御琵琶あそばされけるところに、
エ　遣はしし人は、夜昼待ち給ふに、年越ゆるまでおともせず。

⑤「月の光に誘はれて、参りたまへることもや。」の「れ」と文法的に同じものを、次の中から選べ。

ア　美麗ことのほかにて参れる、便なきことなり。
イ　まうけたる船どもを、秩父が方よりみなわられて、…
ウ　御兄たちはとりもあへず滅び給ひにしにこそおはすめれ。
エ「かやうの事に権中納言のなきこそ、なほさうざうしけれ。」

第7講 PART3 解答

問五　a り　b る

問六　5

問七　④

問八　1

第7講　PART3　確認問題　解答

〔解説〕

① 「すぐる」は打消の助動詞「ず」をつけてみると「すぐれず」となり、「ず」の時の直前がエ段音なので下二段活用動詞だとわかる。連体形「すぐるる」の「る」は動詞の一部である。よって、ウが正解。

② 文中に係助詞「ぞ」があるので、文末は係り結びで連体形になる。連体形が「る」になるのは、完了の助動詞「り」。「ら・り・り・る・れ・れ」と活用する。よって、アが正解。

③ 四段活用動詞「及ぶ」の未然形に接続しているので、助動詞「る」。文中に係助詞「こそ」があり、係り結びで已然形「ね」になっているのは打消の助動詞「ず」である。「及ぶことができない」と訳せるので、「る」は可能。よって、エが正解。

④ 四段活用動詞「もてかしづく」の已然形に接続しているので、完了の助動詞「り」。イは未然形に接続しているので助動詞「る」。ウは助動詞「けり」の一部。エは動詞の一部。アは、四段活用動詞の已然形に接続しているので、完了の「り」。よって、アが正解。

⑤ 四段活用動詞の未然形に接続しているので助動詞「る」。アは「参る」という動詞の一部。ウは推定の助動詞「めり」の一部。エは「さうざうし」という形容詞の一部。イは四段活用動詞の未然形に接続しているので助動詞「る」。よって、イが正解。

〔解答〕

①　ウ　　②　ア　　③　エ　　④　ア　　⑤　イ